

# 果 樹

## 1 りんご

### (1) 高温対策

土壌の乾燥を防ぐため、定期的なかん水を実施しましょう。かん水量は6日連続で晴天が続いたときには30mmを目安とします。しかし、高温干ばつが続くときには、かん水間隔を短くしてください。

### (2) 「秋映」「シナノゴールド」の落果防止対策

9月下旬～10月上旬に収穫期を迎える「秋映」は、収穫前落果が多く問題となることがあります。落果防止剤を収穫開始予定日の25日前に1回散布します。

10月中下旬に収穫期を迎える「シナノゴールド」は、わい性台木樹や土壌が極端に乾燥するほ場で、収穫前落果が発生することがあります。収穫前落果が心配される場合は、「秋映」同様に落果防止剤を散布します。

なお、「シナノスイート」は収穫前落果がないので、落果防止剤の散布は不要です。

### (3) 「秋映」の着色管理

葉摘みは、極軽く果実に直接触れている葉のみを摘み取ります。高温日が続く場合は、葉摘みの程度を軽くしてください。玉まわしは果柄が短いので、無理に行わない方が良いでしょう。

収穫は満開後150日頃が目安ですが、果実全体が着色するため地色がわからなくなります。かならず食味を確かめながら収穫時期を判断してください。

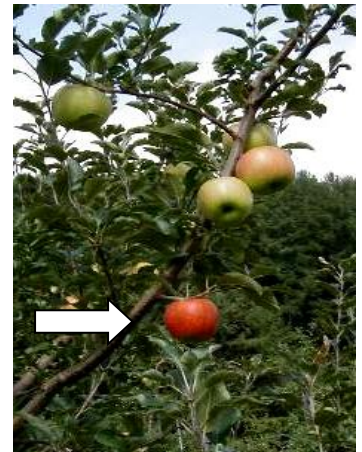
#### 「秋映」の収穫適期の特徴

- ・ 果実の下部が豊満になる。
- ・ 多少ワックスが発生する。
- ・ がくが開く。
- ・ 果肉が黄色みを帯びる。
- ・ 果点が浮き出る。

### (4) 「シナノスイート」の心かび対策

心かび病は発芽や開花が早い年ほど発病果率が高くなります。心かび病に罹病していると、健全果と比べ早期に着色し（写真の矢印の果実）、果面にワックスが発生します。着色が早い果実は収穫1ヶ月前頃から目立ち始めるので、その頃から除去を開始します。除去した果実は切って心カビ病が発生しているかいないかを確認してください。心カビ病の発生が多い場合はその後も2～3回除去を行います。

健全果と着色による見分けが付きにくくなる満開後135日（例年9月中旬）頃までに取り除きます。



## 2 ぶどう

### (1) 収穫基準

いよいよ収穫期となります。園をひとまわりして、着色具合等の熟度状況を調べ、おおまかな収穫期の把握に努めます。なお、品種毎の収穫基準は表1のとおりです。

**表1 収穫基準**

品種等	糖度%	酸度g/100ml	果皮色	房重 g	果粒重 g
巨峰	18以上	0.5	紫黒色	350~400	11~13
ピオーネ	17以上	0.5	紫黒色	500~550	17~18
ナガノパープル	19以上	0.4~0.6	果てい部まで紫黒	400~450	13~15
シャインマスカット	19以上	0.2~0.3	やや黄色みを帯びた黄緑	500~550	12~14
クイーンルージュ®	20以上	0.3~0.4	鮮赤色~紫赤色	500~550	15~17

### 3 もも

#### (1) 秋季せん定(9月上中旬)のメリット

- ア) 樹を落ち着かせる効果があります。
- イ) 効率的な貯蔵養分の蓄積につながります。
- ウ) 葉があるうちにせん定するため、枝の繁茂状態が判断しやすく、秋季のボルドー散布等の薬剤防除効果が高くなる等の効果があります。

#### (2) 秋季せん定のポイント

- ア) 樹冠上部の太枝、冬期せん定で切除するような強勢枝、共枝、車枝等を整理します。
- イ) 太枝等を切除した場合は、切り口に癒合剤を塗布し、枯れ込みを防止します。
- ウ) 過度な秋季せん定は、貯蔵養分の不足を招き、樹体凍害の発生を助長するので、除去する枝量は上限3割程度とします!
- エ) 樹形構成中の若木の場合は6月~7月の夏期管理を実施し、秋季せん定は行わないでください。また弱樹勢樹の場合も秋季せん定を行わないでください。

#### (3) せん孔細菌病の防除

- ア) 秋季防除の効果が高いです。防除暦に沿って9月中旬と2週間後の2回は散布します。発生が多かった園ではもう1回散布しましょう。
- イ) せん孔細菌病は秋の風雨(暴風雨)で感染する。台風が来る場合は事前に予防散布を行います。
- ウ) 樹上や園内に残っている被害果は土中に埋めるか園外に持ち出します。

### 4 なし

南水の適期収穫 下記を参考に適期に収穫しましょう。

#### (1) 果皮色

- ア) 食味を重視した収穫適期はカラーチャートの値で、「2.5」です。
- イ) 長期貯蔵する果実は、収穫時に適熟でも貯蔵中に過熟となり、発酵臭が発生しやすいので、やや未熟のうちに収穫します。カラーチャート値「2.3」。
- ウ) 南水等の新しい種類の場合は、地色の抜けが遅く、果皮色の着色の進行が遅れる傾向にあることから、カラーチャート値「2.5」よりやや早めの収穫とします。

#### 【カラーチャートの使用方法】

- ①比色する位置は果実の赤道面のやや下方の陰光面とします。
- ②明るい日陰で比色します。
- ③比色する時は目からやや遠ざけてみると良いでしょう。

#### （2）収穫適期

満開後 155 日頃が収穫始めの目安です。

#### （3）果点の感触

- ア) 果点が粗く、さわって表面がざらつくうちは未熟です。
- イ) 果実のていあ部の果点が周囲と同化して目立たなくなると適熟（カラーチャート「2.3」）に近い状況です。
- ウ) ていあ部にやや青みが残った状態が適期。完全に青みが抜けてしまうと過熟です。

#### （4）その他留意点

- ア) 適熟果は目標糖度 14 度以上で、デンプン臭がないものです。
- イ) 果そう葉が少なく、上向きの果実は日焼け果となり、こうあ部にひび割れが入りやすく熟度が進むため、やや未熟のうちに収穫するよう心がけます。
- ウ) 高接ぎ後数年経過した樹や老木では、収穫時期が早まり、果皮色の割に日持ちが低下する場合がありますので、収穫が遅れないよう注意してください。
- エ) 収穫期に曇天日や雨天が続くと、外観に対して内部品質が先行することがあります。